

これからまちづくり大学：基礎課程編報告！

「商店街の活性化とまちづくり～山形県新庄市100円商店街に学ぶ」

6月17日（水）

参加者57名

講師

NPO 法人 AMP 代表

斎藤 一成氏

100円で地域再生！

思わず買っちゃう、
100円の魔法！



- 100円商品は店頭、清算は店内というシステムにより、客は気がつかないうちに抵抗なく足を踏み入れ、入ったことのない店内の様子をすることができる。
- 100円商店街を行うことにより高い滞留性を生むことができ長い滞在により販促効果が得られる。
- 歩行者天国にしない！客と店との距離を縮める。そして人混みを作り出し集客効果をあげる。
- 商店街加盟店の90%以上の参加が絶対条件。全ての店を主催者として機能させることにより受動的な意識から自発性を作り出す。意識改革を生み出す。
- 商店街の中から新たな連鎖反応が生まれる。商店街独自のビジネス展開：地域の人のニーズと商店街のニーズをマッチングさせて交流を盛んにする。



講師

細内 信孝氏
コミュニティ
ビジネスの提唱者
CB 総合研究所
代表取締役所長
<http://www.hosouchi.com>

栃木コース コミュニティ・ビジネス(CB)起業塾

プランナー課程募集！
参加費無料

予告！

コミュニティビジネス
とは・・・

地域資源を活かし
ながら
地域課題の解決を
「ビジネス」の手法で
取り組む。

回	日時	内容
第1回	9月6日(日) 15:00~17:00	コミュニティ・ビジネス(CB)とは何か？
第2回	9月20日(日) 15:00~17:00	成功事例・失敗事例からCBを学ぶ 自分の起業したいテーマを考える
第3回	10月4日(日) 15:00~17:00	CB事業企画の作成①
第4回	10月11日(日) 15:00~17:00	CB事業企画の作成②
第5回	11月1日(日) 15:00~17:00	CB事業企画発表会
会場	全日程	とちぎ市民活動推進センターくらら

申し込み・問合わせ

とちぎ市民活動推進センター くらら（栃木市境町19-3 駅前庁舎1F）

TEL 0282-20-7131

E-MAIL : kurara-tochigi@cc9.ne.jp

FAX 0282-20-7132

URL : <http://www.cc9.ne.jp/~kurara-tochigi>

県・市・NPOの 協働事業

くろ
中村さん



P&P (パークパートナー)

とは?

- ❖公園の美化活動をやっている市民のネットワーク作り。
- ❖ネットワークを活用するため、情報交換する場を設ける。
- ❖イベントの開催 永野川緑地公園にて『たこあげ大会』
- ❖P & Pの向上のため、研修会を開催する。(下記参照)
- ❖お知らせ【水辺を子どもたちに！】子どもたちが水辺で遊べるようにするため永野川河川敷の草刈りを行います。ご協力下さる方、ボランティア募集してます。日 時 平成21年7月19日(日) 午前7時～9時
場 所 栃木工業高校グランド東側駐車場集合
持ち物 鎌・軍手・長靴
問い合わせ 市民活動推進センターくらら まで

第1回目

講師

株式会社

シー・アイ・エス
岸 靖佳氏



6月5日(金)

『公園のデザインと安全性』

魅力ある公園とは人が集う機会をふやし、公園を活用することから生まれます。そのためには「領域性」「抵抗性」「監視性」の3つポイントは欠かせないといえます。交流会では、日ごろの公園の美化活動をしていて、よかった点と苦労している点をあげてもらいました。身近な公園を良くしたい想いは同じであり、いろいろな立場から公園の現状と対策を聴くことができました。その中には、公園に集まる若者の問題やホームレスなど、社会的背景を映すものもありました。そういった問題に、真剣に向き合い、利用する方との信頼関係を築く活動には感心するばかりでした。

～参加者～
15名



第2回目

講師

作新学院短期大学 教授
青木 章彦氏



～参加者～
22名

6月14日(日)

『環境-保護と管理-』

永野川緑地公園にて青木章彦氏にフィールドワーク(公園内を散策しながら植生管理の現状の把握)を行いました。その地にあった植生を知ること、公園の管理の仕方も変わることが分かりました。続いてのミニ講義では、実際の管理の概要、事例を学び、植生を知った上でどのように応用するかが問題になります。一つに順応的管理の利点をあげ、公園をよく利用する方の意見(植生・管理の仕方等)を取り込み、評価したうえで実行そして振り返り行うことで、理想の公園にしていく方法を取り入れるのはどうかと話題になりました。ワークショップでは、現状・課題・改善点を付箋に書き出しホワイトボードに張る作業を行い、みんなで共通認識を行いました。最後にグループに分かれて話し合った結果、人や植物・他の生物と共生できるような公園にしたい 草や芝を刈るところを区別して管理するといった点があがり永野川緑地公園に対する想いを一つにしました。

